

朝ごはんをしつかり食べよう！ 常北高校で食育授業

一日の活力の源となる朝ごはんをテーマにした授業が、常北高校の3年生を対象に行われました。この授業は、町が進める食育推進事業の一環。1月15日には、栄養士からの1日のリズムを作るうえでの朝ごはんの重要性等について講話を聞き、その後グループごとに栄養バランスを考えながら朝食の献立を作成。そして22日には、調理実習で自分たちが考えた朝食作りに挑戦しました。食材には、地元産のアイガモ米やレッドポアローも用いられました。

生徒たちは、各々真剣に取り組み、できあがった料理に満足そうでした。また、「料理のコツ・マナー、栄養の話をよく勉強できた」「食事の栄養、なおかつ色彩も考えて美味しく作るのは大変。でもうまくできれば嬉しいしまた作ろうと思う」などの感想がでました。

消しゴムスタンプ講座

小さな子を持つ母親同士で結成した育児サークル「きらきらばあ」は、2月5日に常北保健福祉センターにおいて、消しゴムスタンプ講座を行いました。

消しゴムに図案を描いてカッターで削り、スタンプにしたものをバッグに押して、オリジナルバッグを作成。参加者からは、「子連れで参加でき、素敵なバッグが作れて楽しかった」と好評でした。



石塚小が理科教育の 優秀校として表彰

理科教育優秀校（県教育長が推薦）に贈られる「第23回幡谷教育振興財団賞」に、石塚小学校が選ばれました。この賞は、児童・生徒の科学への関心を高め、優れた科学者を育成すること等を目的に設けられています。

2月15日には、県総合福祉会館で贈呈式が行われ、石塚小をはじめ県内小中学校6校に、理科教育助成金として100万円が授与されました。この助成金は、児童の教育に役立てるため、有効に活用されます。石塚小の皆さん、おめでとうございます。

高ク連芸能発表会

2月6日、高年者クラブ連合会主催の第2回芸能発表会が、コミュニティセンター城里で開催されました。団体や個人、31組100人余りが出場。歌謡や舞踊、詩吟などそれぞれ素晴らしい発表で、約250人の観客を楽しませました。

寒さの中 節分祭で水行

節分の日の2月3日に、修多羅寺（小勝）において恒例の水行が行われました。これは、お経を唱えながら冷水を頭からかぶり身を清めるもの。磯野善恵住職ら僧侶が真冬の寒さの中で勢いよく水をかぶる迫力の姿に、集まった多くの見物人から歓声があがりました。





『家庭での生活の中に答えがある』と話す内田先生

「いじめをなくそう」講演会

2月14日、第50回東茨城郡教育振興大会の中で、家庭教育カウンセラーの内田玲子先生を講師に招いて「いじめをしない子、されない子に」と題した講演が、コミュニティセンター城里で開催されました。

内田先生は、いじめ問題の「根」は家庭の中にあるとし、「子どもは親が育てたように育つ。練習場である家庭で、親が子どもからの『あのね』の訴えをしっかりと聞いてやらないと大人不信となり、晴れ舞台の学校でいじめられる子、いじめられる子が生まれる」「子どもが出すサインに早く気づき、受け止めることが大事。気づいたときに間に合う」と自身の経験に基づき力説。先生の熱いメッセージに、会場を埋めた大勢の保護者や教職員から大きな拍手が沸き起こりました。

城北地方少年サッカー大会

第20回城北地方少年サッカー大会（常北サッカースポーツ少年団及び同育成会主催）が、2月10日・11日に常北運動公園広場ほか5会場で開催されました。県内外から36チームの参加があり、少年たちの白熱した試合が展開されました。

大会の結果

【高学年の部（6年生主体のチーム）】

- 優勝 常陸太田サッカースポーツ少年団（常陸太田市）
- 準優勝 真壁ジュニオールサッカースポーツ少年団（桜川市）
- 第3位 湊第一サッカースポーツ少年団（ひたちなか市）
- 第4位 見川サッカースポーツ少年団（水戸市）
- 敢闘賞 常北Aサッカースポーツ少年団（城里町）
舟石川サッカースポーツ少年団（東海村）

【低学年の部（4年生主体のチーム）】

- 優勝 岩間サッカースポーツ少年団（笠間市）
- 準優勝 常陸太田サッカースポーツ少年団（常陸太田市）
- 第3位 友部サッカースポーツ少年団（笠間市）
- 第4位 堀原サッカースポーツ少年団（水戸市）
- 敢闘賞 常北Aサッカースポーツ少年団（城里町）
舟石川サッカースポーツ少年団（東海村）



星空観測会

2月3日（土）にふれあいの里天文台にて、星空観測会が行われました。参加した子どもたちは講師の中川義通先生（ふれあいの里天文同好会会員）手製のプラネタリウムによる、星の話聞き、実際に天体望遠鏡で金星・シリウス・オリオン大星雲を目にし、思っていたよりも小さくしか見えない星にびっくりしたり、きれいな星に感動したりして冬の澄んだ夜空を楽しみました。



第3回家庭教育学級

1月27日（土）にコミュニティセンター城里研修室において、平成18年度第3回家庭教育学級が開催されました。今回は、人権教育（いじめ問題）をテーマに「子どもからのSOS」その向こうに見えるもの」と題して、のびる学園園長の渋谷照夫先生による講演が行われました。

講演の中で先生は、「子どもは話の中でSOSを発していることがあり、親が『今忙しいから、後で』と話を聴いてあげないこと、後回しにしてしまうことで、子どもが話（SOS）を発すること」をしくなってしまうこともある。子どもの話を親や大人がよく聴いてあげることが大事」と述べました。また、他にも、地域をあげての子育ての重要性など、役立つ話に、参加した皆さんは真剣に耳を傾けていました。講演会終了後には「今後の子育ての参考になった」「講演会を聞いてよかった」「もっと話を聞きたかった」という意見が多数ありました。

